



# 2024 年度 JFA コース報告書



## JFA A 級ジェネラルコーチ養成講習会

報告者：上田 真也（岐阜大学サッカー部 監督）  
 日程：前期 2024年6月17日(月)～2024年6月21日(金)  
 中期 2024年9月16日(月)～2024年9月20日(金)  
 後期 2024年11月25日(月)～2024年11月30日(土)  
 場所：高知・春野総合運動公園  
 チューター：本吉 剛（JFA・四国チーフ）  
 和泉 茂徳（JFA・高知 FA コーチ）  
 参加者：前期 23名 中期 23名 後期 24名  
 補助選手：高知大学サッカー部



### 【学習目的】

全国レベルの選手（主な対象は18歳以上）の指導ができる人材を養成すると同時に、地域・都道府県の指導者のリーダーとなる人材を育成することを目的とする。（JFAHPより）

### 【学習目標】

前期	中期	後期
・明確なプレーモデルを持つ ・個人戦術やグループ戦術の徹底	・プレーモデルのうつけ込み （個人・ユニット・チーム）	・プレーモデルのうつけ込み （個人・ユニット・チーム） ・一人一人に役割を与える

### 【学習内容】

講義	実技・指導実践	試験・課題
前期		
・プレーモデル・GK ・ゲーム分析・プランニング ・コーチング	・コンディションチェック ・指導実践①(TR1/TR2)	【事前課題】 ・指導案作成×7トピック ・自己分析シート作成
中期		
・フィジカルコンディション ・チームマネジメント ・セットプレー	・指導実践②(TR1/TR2/GAME) ・フィジカルコンディション ・プレゼン実習	【間の学習】 ・Logbook(指導実践) ・プレゼン資料作成
後期		
・ナショナルコーチングスタッフ ・チームビルディング ・Emotion Workshop	・指導実践③(TR2/GAME) ・指導実践④(TR2/GAME)	【間の学習】 ・Logbook(指導実践) ・医学・栄養・心理学(講義) 【試験】 ・口頭&筆記試験

### 【実技トピック】

- ・高い位置からの守備の改善
- ・中盤でボールを奪う守備の改善
- ・リトリートした守備の改善
- ・カウンターアタックの改善（自陣に引き込んでから）
- ・ビルドアップの改善（高い位置からの守備に対して）
- ・中盤でボールを奪う守備に対する攻撃の改善
- ・リトリートした守備に対する攻撃の改善

### 【学びと課題】

本講習会は、自分のサッカー観を築き、試し、全員で議論する中で新たな価値観を構築する講習会であったと感じています。私自身、本講習会で多くのチャレンジと失敗を繰り返していく中で、新たなプレーモデルの構築やコーチング方法の確立に繋がったと実感しています。7つのトピックに対する理解はもちろんのこと、監督、コーチ、GKコーチとの良好なリレーションや4局面の重要性について、改めて気づかされました。間の学習でのLogbook作成では、多くの指導者の方に助言をいただき、少しずつではありますがプレーモデルの整理ができたと感じています。今後、本講習会での学びを継続するとともに、自身のサッカー観を磨き続けなければなりません。

本講習会では、W杯でプレーされた方や元Jリーガーの方、また1種から4種まで様々な種別や地域で指導されている方々と深夜遅くまで語り合い、ピッチでプレーしながら学び合うことができました。私にとっては何事にも代えがたい貴重な時間であり、財産になりました。本講習会で私を支えてくださった受講生の皆さま、チューターや高知大学の補助学生に感謝いたします。

岐阜FAでの県内トライアルや東海トライアルからはじまり、Logbookでの指導に至るまで、私にお付き合い頂きました松永FAコーチをはじめ岐阜FA指導者養成部の皆さま、間の学習にご協力頂きました各チームの皆さま、最後に本講習会への参加を快く承諾してくれた岐阜大学サッカー部員に感謝いたします。

作成者：上田 真也（岐阜大学サッカー部 監督）

報告日：2024年12月10日



G-ACTION 2030

# 2024 年度 JFA コース報告書 JFA ユース B コーチ養成講習会



報告者：牧野 健 (加納西スポーツ少年団サッカー部)  
日程：前期 2024年6月17日(月)~2024年6月22日(土)  
後期 2024年9月16日(月)~2024年9月21日(土)  
場所：大阪・J-GREEN 堺  
チューター：鈴木 貴浩 (JFA・北海道チーフ)  
白井 貞義 (JFA・U17 女子日本代表監督)  
参加者：前期 23名 後期 24名  
補助選手：大阪体育大学サッカー部 興国高校サッカー部

### 【学習目的】

U-15、U-12 年代の指導のリーダーとなる人材を養成する。同時に、この年代の指導のスペシャリストの育成と、所属地域での U-15、U-12 年代のゲーム・トレーニング環境を整備・充実させるための諸活動において、リーダー的立場に立つ活動ができる人材を養成することを目的とする。(JFAHP より)

### 【学習目標】

前期	後期
<ul style="list-style-type: none"> <li>●U12/13 年代の指導(8vs8 まで)</li> <li>・この年代に重要なテクニック・個人戦術を徹底するテーマ設定</li> <li>・全体像(8vs8)へつなげるイメージを持ち、個人への高い要求と働きかけで、個人の意識を変えられることを目指す</li> <li>※日常の現場で目の前の選手のレベルを引き上げられる</li> <li>・幅広いターゲット(グラデーション)を理解しチャレンジする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●U14/15 年代の指導(8vs8 以上)</li> <li>・3 ゾーンでの判断基準を促すテーマ設定</li> <li>・全体像を持ち、個人・グループへの働きかけで、グループを改善することを目指す</li> <li>・目的と原則、テクニックの積み上げでより良く全体像に導くことにチャレンジする</li> </ul>

### 【学習内容】

講義	実技・指導実践	試験・課題
事前講義		
コーチングサーキュレーション 分析・プランニング・コーチング		
前期		
言語技術・発育発達・フィジカル U12 心理学・セーフガーディング 個人戦術・チームマネジメント Jリーグ(個別育成の重要性) 間の学習&プレゼン実習ガイダンス	指導実践①3人組(w-up/TR1/TR2) 指導実践②3人組(TR1/TR2/GAME) トレーニングデモ 個人戦術	【事前課題】 自チームの分析&課題の抽出 指導案作成×6トピック 自己分析シート作成
後期		
フィジカル U15 Emotion Project JFA アカデミーの取り組み 選手発掘 育成の全体像 or 代表監督講義	プレゼン実習 指導実践③(TR2/GAME) 指導実践④(TR2/GAME) コース内課題	【間の学習】 Logbook(指導実践) プレゼン資料作成 医学・栄養・フィジカル(講義) 発育発達レポート

### 【実技トピック】

前期	後期
①ボールを奪う(1対1)	④ゴールを奪う(崩し)
②パス&コントロール	⑤スライド(積極的に奪う)
③チャレンジ&カバー	⑥フィニッシュ
	①高い位置からの守備
	②ビルドアップ
	③中盤での守備
	④中盤での守備に対する攻撃
	⑤ゴール前での守備
	⑥ゴール前の崩し

### 【学びと課題】

「サッカーの全体像を持ちながら個人・グループに働きかける」「原理原則に基づいた指導と、基本戦術・テクニックの徹底」ということをどの講義、実技においても意識させられる講習会となりました。チームの勝敗や目に見える結果を求めるということは一切なく、常に「個」の育成に重点が置かれ、目には見えない選手に対する分析やプランニング、コーチングにおいて、個々の選手に対しどのようにアプローチすべきかを考えさせられました。また、育成年代でのフィジカル、心理学や個別育成の重要性等を講義で学び、サッカーの実技だけではなく幅広く学び続ける必要性を感じました。

前期、後期の 5泊6日の講習会中には、全国から集まった参加者の方々と多くの交流ができました。講義では多くのグループワーク、実技ではグループで指導実践に取り組むことで、プランニングから指導実践実施後のデスクッションまで様々な意見交換を行うことができました。

この学びをさらに高め、私に関わることでできる選手へ還元するとともに、岐阜県サッカー協会の発展に寄与できたらと思います。今回、派遣していただいた岐阜県スポーツ協会並びに岐阜県サッカー協会の皆さまに感謝申し上げます。

最後に、鈴木貴浩チューターの言葉をまとめといたします。

“やるかやらないかで迷ってはいけない その一步を踏み出す勇気を持つ

我々は、失敗から多くのことを学ぶことができる”

作成者：牧野 健 (加納西スポーツ少年団サッカー部)

報告日：2024年12月10日